

# 2016年2月度 中部品質工学研究会 議事録

## 1. 開催日時

2016年2月6日(土) 10:00~17:00 7日(日) 9:00~12:00

## 2. 開催場所

セイラス蒲郡

## 3. 参加者<敬称略>出:出席、欠:欠席、書:書記、休:休会

井上	出	大見	出	牧野	出	横尾	書	山口	出	杉浦	出	梅本	欠	林	欠	佐藤	出
則尾	出	伊藤	出	舟山	出	城越	出	雲丹亀	出	三浦	出	合田	欠	中山	出	岩本	出
池田	休	森	休														

## 4. 研究会のテーマ

### ①雲丹亀 パラメータ設計と応答曲面法

応答局面法を用いた条件最適化の事例について議論した。

### ②輪講:三浦 第8章 ベクトル量の場合

8.1 ベクトル量とは 8.2 実験の計画と解析法 8.3 幾何学的誤差の場合

要点→誤差因子の調合を用いて、特性要因効果図を作成。その結果より最適条件を抽出する。事例より左記を練習として資料作成。  
制御因子の交互作用に注意し損失関数を含めた評価。  
誤差をスカラー量で扱うのではなくベクトル量とし、SN比を注目。  
機能窓法の出来る前として、品質を特性値・要因分析・損失関数で確認する。

### ③舟山 品質工学のパンフレットについて

中部品質工学研究会会員募集用新パンフレットに関して検討実施し、梅本さんの案をもとに改定案を募集した。  
本日の改定案を基に改定し次回の研究会にて再度検討する。

### ④舟山 研究会会員募集用パンフレット作成

品質工学会用パラメータ設計の事例の見方ピラの改定案検討実施  
2015年度ITEQブースにて配布した上記ピラの改定案を募集した。  
本日の改定案を反映したものを5月の研究会にて再度検討する。

### ⑤則尾 MT法の相談

数千データのMT法による異常値判別について相談

- 1) 統計ソフトにあるデータを使用し、解析操作をしながら、確認箇所、結果の見方を確認
- 2) 層別はMD値を信号としてT法(1)で項目の関連の強いもので行っては?  
→本解析のまえの、データ処理でMTシステムを活用

## 5. 事務局連絡

### ①来年度の予定

- ・開催日:毎月第一土曜日開催を基本(開催日の詳細は別途)
- ・講演、輪講などの月例行事:事務局案を基に仮決定(ゲストと調整して、幹事にて決定)
- ・合宿:'17年2月予定

### ②来年度の研究方針

- ・MT法について
- ・品質工学他

### ③その他(舟山)

田口伸氏出版記念講演の中部研究会協賛内容に関して打ち合わせ実施  
開催に向けて各メンバーで宣伝の声かけ、会場準備等をお手伝いすることとなった。  
中部品質管理協会様へのお願いは大見様に担当いただく。

## 6. 次回案内

- ・日時:2016年3月12日(土)
- ・場所:中部品質監理協会
- ・議題(案)

### ①テーマ:

- ②輪講:論説集(第1編 第9章 SN比の効用):城越さん
- ③講演:田口 伸氏(生データの解析と交互作用)

以上

